

日本近現代医学人名事典【1868-2011】

泉 孝英 編

＜書評者＞ 高久史麿（日本医学会会長・自治医科大学名誉学長）

今回、医学書院から泉孝英先生の編集による『日本近現代医学人名事典』が刊行された。この事典で紹介されている方々は、2011 年末までに死去された医療関係者の方々である。紹介の対象になっているのは医師、医学研究者が大部分であるが、歯科医師、看護師、薬学、体育指導者、宣教師、事業家（製薬業）、工学者（衛生工学）、社会事業家、厚生行政の方、生物学者など、幅広い業種の方々であり、いずれもわが国の医療の発展に大きく貢献された方々である。本誌に紹介されている方々の年代は誠に長く、1868 年から 2011 年までの 143 年に及び、その数は 3,762 名に達している。

本書の「序」にも紹介されているように、1868 年はわが国に西洋

医学が導入された年であるから、本書は、日本の近代医学・医療に貢献された先達のご経歴とご業績を網羅した“一大人名事典”であるという過言ではないであろう。

この書評を書くにあたって、私自身が指導を受けた 20 人近くの恩師の方々の名前を拾い上げてその内容を読んでみたが、その内容の正確さに強い感銘を受けた。なお、この 20 人の方々の各々のご業績の紹介に関しては、その内容にやや濃淡があるように感じられたが、これだけ多くの方々の紹介であるからこの程度のばらつきはやむを得ないであろうと考えている。

泉 孝英先生が胸部の疾患をご専門にされておられたことは、先

生が京都大学の教授の時からよく存じ上げていたが、先生がご退官後 14 年間かけて本書の編集にあられたことを本書の「序」で知った。医学者としての泉 孝英先生しか知らなかった私にとって、大きな驚きであった。あらためて泉先生の本書の編集に対する甚大なお尽力に心からの敬意を表すると同時に、泉先生のご努力が本書を日本の近代医学の歴史を語る貴重な資料にしたと私は考えている。

このような貴重な資料の作成に成功された泉 孝英先生ならびに医学書院の方々に衷心からお祝いの言葉を捧げるとともに、1 人でも多くの方々に本書を貴重な資料として温存していただきたいという私の願いの言葉をもって、推薦の言葉の締めくくりとしたい。

●A5 頁 810 2012 年
定価：本体 12,000 円＋税
[ISBN978-4-260-00589-0]
医学書院 刊